

施策の進捗管理シート

令和 2 年度

総合計画 画体	分野	4	第4章	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	施策統括課	環境政策課
	施策No.	19	施策名	地球にやさしい低炭素社会の構築	課長名 (施策統括責任)	宮崎 圭子
	関係課	環境政策課、バイオマス産業推進課、上下水道局、循環型社会推進課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民や事業者、市民活動団体は、環境・エネルギー問題を意識し、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。
取組方針	本市では2010年（平成22年）に環境都市宣言を行い、市民一人ひとりが環境に対する責任を自覚し、環境保全に積極的に取り組む姿勢を示しています。市民一人ひとり、また地域や事業者に対して省エネルギーなどの環境負荷を減らすことのできる取組を積極的に啓発していくとともに、再生エネルギーの普及に努め、低炭素社会の構築を推進します。 また、本市の山から海まで広がる多様な生物の生息・生育環境の保全を図るとともに、市民が自発的に環境保全に関わることができるよう、あらゆる年齢層に応じた環境教育を推進します。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民、事業所					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民や事業者、市民団体等は自然環境やエネルギー問題に高い関心を持ち、温室効果ガス排出抑制や自然環境の保全を意識して行動する。					
成果指標 A						
省エネ等の環境問題を意識し、取り組んでいる市民の割合						単位 %
H25 基準	H27 計画実績	H28 計画実績	H29 計画実績	H30 計画実績	R01 計画実績	R06 目標
78.8	79.0 73.7	80.0 71.6	80.0 70.9	80.0 73.8	82.0 73.4	85.0
成果指標 B						
市域における電力使用量（2013年度比）						単位 %
H25 基準	H27 計画実績	H28 計画実績	H29 計画実績	H30 計画実績	R01 計画実績	R06 目標
100.0	100.3 90.7	99.8 90.1	99.2 84.1	98.7 78.6	98.2 77.5	95.6

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	40.7%	44.3%	↑
ある程度重要である	40.0%	39.0%	↓
あまり重要ではない	8.4%	6.3%	↓
重要ではない	1.5%	1.2%	↓
順位	22/36位	19/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.1%	4.1%	→
どちらかといえば満足	42.2%	39.8%	↓
どちらかといえば不満	28.9%	29.8%	↑
不満である	4.0%	5.1%	↑
順位	17/36位	21/36位	↓